

# 行政経営評価（施策評価）

<b>コミュニティの視点 (生活と空間)</b>	<b>7. 市 域</b>	「環境共生」と「基盤整備」に関する分野を【市域コミュニティ】に該当する分野と捉えます。
------------------------------	---------------	---

施策分野	目指すべき姿
7-① 資源循環	市民意識の高揚によりごみの減量化が進み、環境に負荷をかけない資源循環型のまち
7-② 環境保全	市民、事業者、行政が一体となり住みやすい生活環境が保全され、市民が快適で健康な生活を送れるまち
7-③ 都市づくり	既存の都市基盤を活かしつつ、まちの賑わいを育み、人と自然にやさしいコンパクトなまち
7-④ 道路整備	安全・安心で快適な生活ができるよう、市道や側溝の計画的な整備を進めるとともに、銚子連絡道路の早期完成や国道356号線・126号線など広域幹線道路の整備を促進し、交通アクセスが向上されたまち
7-⑤ 公共交通	身近で利用しやすい公共交通網が維持され、日常生活での移動が不自由なくできるまち
7-⑥ 上水道	水道施設の維持管理や更新整備が持続的に行われ、安全・安心で良質な水道水が安定的に供給される快適なまち
7-⑦ 下水道	下水道施設の計画的な改築更新や維持管理が行われることにより、公共用水域の水質保全や生活環境が改善し、快適な生活を送れるまち

## ■まちづくりの視点

市民の視点	自分なりの関心に応じて地域活動に参加できる
行政の視点	市民の生活環境の改善に取り組む
協働の視点	立場を超えた交流・議論・実践を充実させていく

## ■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	現状 (最新)	3年後 (2022年度目標値)	5年後 (2024年度目標値)	10年後 (2029年度目標値)
① 人口1人当たりごみ排出量 (資源循環)	1,113g/人・日 (2016年度)	1,126g/人・日 (2020年度)	1,105g/人・日	1,100g/人・日	1,088g/人・日
② 公共施設における温室効果ガス排出量 (環境保全)	8,857t-CO2 (2013年度)	6,876t-CO2 (2020年度)	8,300t-CO2	8,150t-CO2	5,950t-CO2
③ 人口1人当たり都市公園面積 (都市づくり)	3.73㎡ (2018年4月1日)	3.89㎡ (2021年4月1日)	3.94㎡	4.11㎡	4.58㎡
④ 道路改良率 (道路整備)	50.91% (2018年4月1日)	51.03% (2021年4月1日)	50.91%	50.91%	51.41%
⑤ JR銚子駅1日平均乗車人員 (公共交通)	3,203人 (2017年度)	3,045人 (2020年度)	3,200人	3,200人	3,200人
⑥ 銚子電鉄1日平均乗車人員 (公共交通)	1,046人 (2016年度)	1,049人 (2020年度)	1,000人	1,000人	1,000人
⑦ 水洗化率 (下水道)	78.0% (2016年度末)	80.15% (2020年度末)	80.0%	81.0%	84.0%

## 成果指標と現状の分析（その1）

資源循環：	人口1人当たりごみ排出量は、基準年度と比較し増加している。コロナ禍での外出自粛の影響も考えられるが、これまで以上に環境に負荷をかけない社会に向けた意識の啓発活動に取り組む必要がある。
環境保全：	公共施設における温室効果ガス排出量は、基準年度と比較し大幅に減少した。公共施設の休廃止のほか、広域ごみ処理施設の試運転による旧清掃センターの稼働率の減少や衛生センター基幹的設備改良工事の完了により、温室効果ガス排出量は減少するが、それ以外の公共施設における温室効果ガス排出量の削減に引き続き取り組む。

成果指標と現状の分析（その2）

都市づくり：	人口1人当たり都市公園面積は、新たな都市公園を整備していないが人口減少により面積が拡大している。公園や街路などの適正な維持管理を図りながら緑化活動を推進し、潤いのある自然環境をつくることに取り組む。また、今後策定する立地適正化計画にあわせて都市公園の位置など検討していくことが必要である。
道路整備：	道路改良率は基準年度と比較し、わずかながら増加している。今後は、人口減少の推移を踏まえ、適切な交通量予測のもと、計画的な整備を進める。
公共交通：	人口減少や自動車社会の進展により公共交通の利用が減り、近年各事業者は運賃収入だけで運行を続けていくことが困難な状況となっている。しかし、公共交通は単なる民間事業ではなく「地域と連携して維持されるべきもの」という位置づけにあることから、将来にわたって持続可能な公共交通の維持に取り組む。
下水道：	下水道整備区域の水洗化率は、基準年度と比較し増加しているが、引き続き水洗化率を高めていく必要がある。また、下水道整備区域外においては、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を推し進め、ともに公共水域の水質保全及び公衆衛生環境の向上に取り組んでいく。

<区分を構成する主な事務事業一覧>

区分： 7. 市 域

注：予算を必要としない取組は、事務事業一覧には掲載していません。

事務事業名	担当課室等	事業費（単位：千円）		個別レポート番号	備考
		令和元年度決算	令和2年度決算		
7-①資源循環：ごみの減量化・資源ごみ分別の徹底					
その他清掃総務費関係経費	生活環境課	147	241	10402010740	
ごみ収集経費	生活環境課	224,854	237,053	10402020140	
清掃センター管理経費	生活環境課	356,017	365,872	10402030640	
最終処分場管理経費	生活環境課	16,537	16,259	10402050640	
7-①資源循環：ごみ処理施設、最終処分場の広域化					
ごみ処理広域化施設整備経費	生活環境課	1,500,993	4,999,098	10402010840	8-④広域関連
7-②環境保全：環境保全対策の推進					
地域環境保全活動団体支援経費	生活環境課	225	225	10401050140	
環境監視員設置経費	生活環境課	1,622	41	10401050240	
合併処理浄化槽転換助成経費	生活環境課	1,456	2,400	10401050340	
7-②環境保全：公害防止対策の推進					
その他環境保全対策経費	生活環境課	2,461	1,988	10401050440	
7-②環境保全：公衆衛生対策の推進					
その他保健衛生関係経費	生活環境課	40	40	10401011940	
犬の登録・予防注射経費	生活環境課	430	239	10401020140	
犬、猫等死体収集経費	生活環境課	1,930	1,870	10401030240	
斎場管理経費	生活環境課	49,427	50,332	10401040140	
公衆便所管理経費	生活環境課	7,463	7,656	10402010640	
衛生センター管理経費	生活環境課	116,860	110,204	10402040640	
衛生センター基幹的設備改良経費	生活環境課	489,875	865,404	10402040740	令和2年度設備改良工事完了
7-②環境保全：省エネ・地球温暖化対策の推進					
市民環境活動推進経費	生活環境課	11	11	10401050740	
住宅用太陽光発電システム設置費補助経費	生活環境課	621	470	10401050940	

<区分を構成する主な事務事業一覧>

区分： 7. 市 域

注：予算を必要としない取組は、事務事業一覧には掲載していません。

事務事業名	担当課室等	事業費（単位：千円）		個別レポート番号	備考
		令和元年度決算	令和2年度決算		
7-②環境保全：省エネ・地球温暖化対策の推進					
住宅用省エネルギー設備等導入促進補助経費	生活環境課	—	1,430	10401051340	令和2年度新規事業
7-③都市づくり：公園整備と緑化の推進					
街路管理経費	都市整備室	3,096	2,833	10805020137	
君ヶ浜しおさい公園管理経費	都市整備室	17,315	5,094	10805030637	
その他公園関係経費	都市整備室	26,216	24,116	10805030837	
7-④道路整備：市道（生活道路）などの整備					
道路橋りょう維持管理経費	土木室	28,795	29,949	10802020139	
市道改良整備経費	土木室	22,803	49,207	10802030139	
交通安全施設整備経費	土木室	8,299	7,563	10802030239	
橋りょう長寿命化対策経費	土木室	36,291	49,427	10802031239	
市道舗装修繕経費	土木室	63,571	68,892	10802031539	
道路附属物修繕経費	土木室	3,883	4,730	10802031839	
河川整備経費	土木室	43,667	51,770	10803010139	
7-⑤公共交通：バス運行体制の維持					
地方バス路線運行維持費補助経費	企画室	26,627	32,673	10201140802	
7-⑤公共交通：銚子電鉄運行維持に向けた支援					
銚子電気鉄道運行維持費補助経費	企画室	7,842	20,987	10201141202	
7-⑥上水道：災害緊急時の備え強化					
水道事業会計負担経費	消防総務課	2,929	5,734	10901030242	
7-⑥上水道：その他【上水道】					
水道事業会計補助及び出資経費	企画室	3,438	2,978	10401010602	
7-⑦下水道：その他【下水道】					
下水道事業会計負担、補助及び出資経費	都市整備室	840,340	580,568	10805011437	令和元年度：下水道事業特別会計繰出経費

◆施策分野の7-⑥上水道及び7-⑦下水道においては、行政経営評価ではなく、公営企業会計の「経営戦略」によって進捗を管理しています。



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	その他清掃総務費関係経費	事業ID
		10402010740

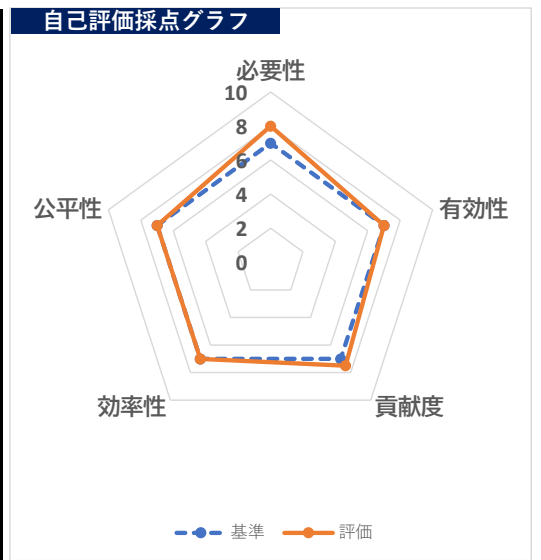
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
広報掲載・町内回覧発行回数	回	目標値	—	4
		実績値	1	3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
人口一人当たりごみ排出量 ( 住民1人1日当たりのごみ排出量 )	g/人・日	目標値	1,109	1,107
		実績値	1,066	1,126
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	継続して3Rや廃棄物の適正処理の啓発するため、予算の現状維持は必要である。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>ごみ処理広域化後の分別方法も含め、廃棄物の適正処理に係る啓発に取り組む。</p>
---



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	ごみ収集経費	事業ID
		10402020140

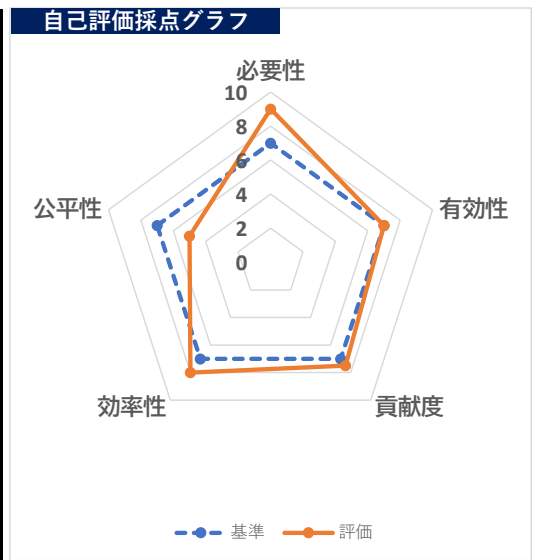
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
ステーションごみ収集量	t	目標値	14,300	14,060
		実績値	14,163.21	14,620
資源ごみ収集量	t	目標値	2,480	2,280
		実績値	2,197.98	2,328
地域一斉清掃参加案内配布部数	部	目標値	—	—
		実績値	227	—
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
トン当たりステーションごみ収集費用 (ステーションごみの収集量1トン当たり収集費用)	円	目標値	11,000	10,551
		実績値	10,174	14,783
資源ごみ収集比率 (ごみステーションから収集したごみ量のうち資源ごみ量の占める割合)	%	目標値	16	16.2
		実績値	15.5	15.9
( )		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
一般廃棄物を適正に処理し、地域の清潔な環境を保持している。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	今後その額や対象等を再検討する必要がある

<b>事業の方向性</b>	a:事業内容を見直す
<b>見直しの種類</b>	その他
<b>見直しする内容</b>	ごみ処理広域化に沿ったステーション収集業務を見直す
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
<b>(上記理由)</b>	
ごみ処理広域化以降の収集実績を参考に、市民のニーズに合った、より現実的な収集方法を模索する必要があるため。	
<b>比較参考 (他自治体での類似事業の例など)</b>	



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

広域ごみ処理施設の稼働後のステーション収集実績やステーションの現状を踏まえ、市民のニーズに合う収集方法や回数を模索検討していく。
--

行政経営評価レポート

Table with 4 columns: 事務事業名 (清掃センター管理経費), 所管 (事業ID), 生活環境課, 10402030640

1 事業の基本項目

Summary table for business basics including 総合計画上の位置づけ (7-(1)-1 ゴミの減量化・資源ごみ分別の徹底), 関連計画 (総合戦略, 第7次行政改革大綱, その他), 補助事業との関連 (3 国・県の補助事業と関連のない業務), 法定等による分類 (4 施設の維持管理に係る業務), and 根拠法令.

2 事業の概要

Summary table for business overview including 補助・単独の別 (単独事業), 事業期間 (昭和61年度から令和2年度まで), 目的 (清掃センターの維持管理を適正に行い、一般廃棄物を安定的に処理する), 対象 (銚子市清掃センター), 事業内容 (ごみ焼却施設、破砕処理施設の運転管理), and 関連事業 (一般廃棄物処理施設整備基金管理経費).

3 費用等に関する項目

Table showing business costs: 事業費 (A) 365,872千円, 一般財源 (B) 214,181千円, 特定財源 (C) 151,691千円.

Table showing citizen burden: 市民ひとりあたり (A/人口) 6,242円, 受益者負担率 39.48%.

※受益者負担率=受益者負担金 (E) の総計/A

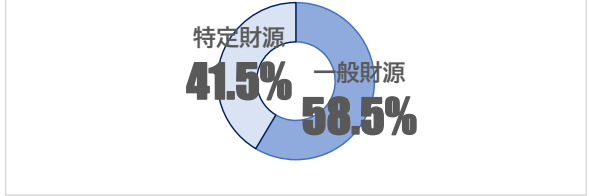
Table showing personnel costs: 施設の管理運営に関する人件費 (D) 13,317千円, 総コスト (A+D) 379,189千円.

※施設の管理運営に関する事業のみ人件費表示

【事業費 (A) の内訳】

Detailed breakdown table for business costs (A) including items like 報酬 (440千円), 共済費 (1千円), 需用費 (119,778千円), etc.

事業費の財源



事業費と人件費の割合

※(D)の人件費が生じるときのみ表示



【特定財源 (C) の内訳】 ※マーク 受益者負担金 (E)

Table showing breakdown of specific resources (C) including 特定財源の名称 and 決算額, such as 原子力発電所事故損害賠償金収入 (52千円) and 廃棄物処理手数料 (144,402千円).



行政経営評価レポート

		所管	生活環境課
事務事業名	清掃センター管理経費	事業ID	10402030640

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
年間焼却処理量	t	目標値	21,000	21,634.45
		実績値	21,406.49	19,948.05
年間破碎処理量	t	目標値	1,600	1,714.17
		実績値	1,686.53	1,433.47
ダイオキシン類分析、ばい煙検査回数	回	目標値	4	4
		実績値	4	4
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		

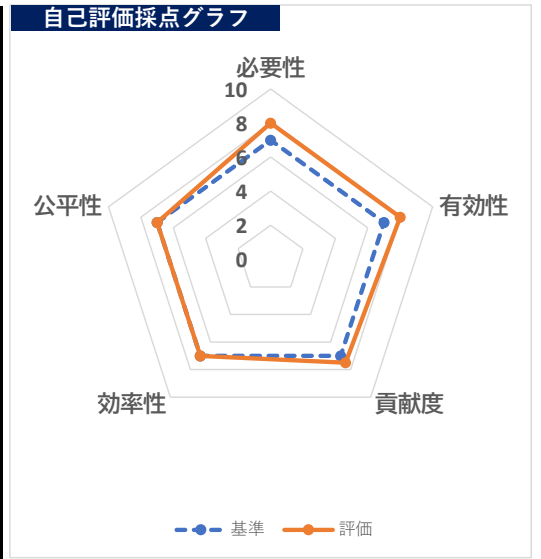
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

一般廃棄物を適正に処理し、地域の清潔な環境を保持することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、健康で快適な市民生活を確保している。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか 市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は大きくある 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	d:他事業と統合し、本事業は廃止する
見直しの種類	その他
見直しする内容	令和3年度から広域ごみ処理施設稼働のため、廃止予定。
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模を縮小する
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

施設が稼働廃止したことから、令和3年度中に施設の解体に着手する。



行政経営評価レポート

		所管	生活環境課
事務事業名	最終処分場管理経費	事業ID	10402050640

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
年間焼却灰等埋立量	t	目標値	3,300	3,300
		実績値	3,439	2,799.59
年間地下水等水質調査	回	目標値	12	12
		実績値	12	12
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

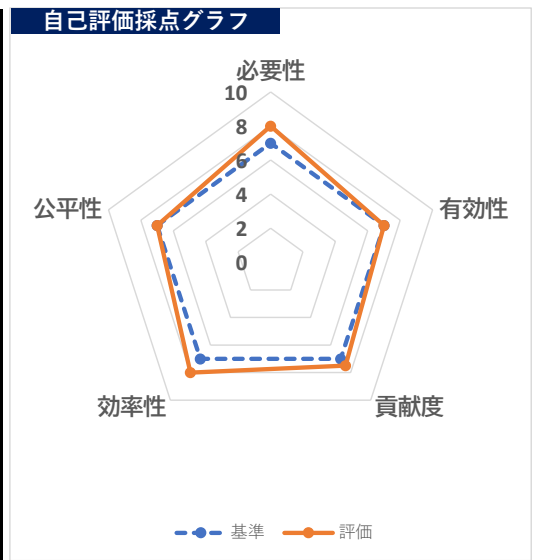
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

銚子市内のごみ処理施設等から発生する焼却灰、焼却残渣等の適切な搬入と埋立及び浸出水処理・水質管理を実施し、地域環境の保全と埋立地の安全対策に万全を期した廃棄物の最終処分を行う。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	市が実施すべき事業か	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	事業の成果は得られているか	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	上位施策の実現に向けた貢献度	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	事業費等の削減努力	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	関連・類似事業との統合	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
公平性	受益者負担は公正・公平か	

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を縮小
見直しする内容	令和2年度末で埋立は終了し、令和3年度以降は浸出水処理を廃止まで継続する。
今後の予算規模の方向性	予算規模を縮小する
(上記理由)	
	埋立終了後、最終覆土工事及び表面排水設備設置工事を実施し、最終処分場を閉鎖しなければならない。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

最終処分場の事業廃止まで施設の適正な維持管理に努める。



行政経営評価レポート

		所管	生活環境課
事務事業名	ごみ処理広域化施設整備経費	事業ID	10402010840

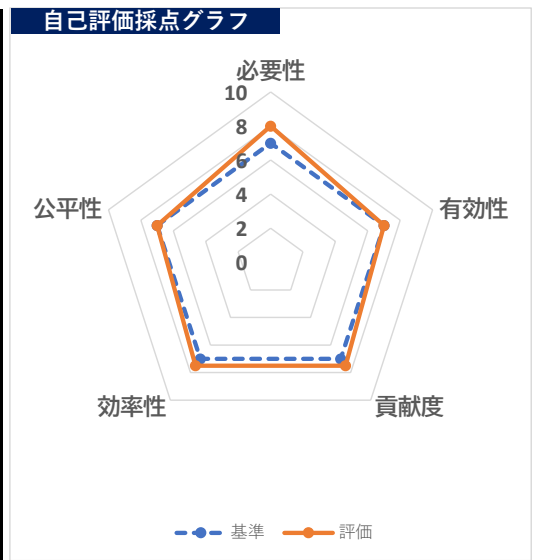
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
組合環境担当課長会議開催数	回	目標値	—	—
		実績値	4	5
組合負担金制度検討会議開催数	回	目標値	—	—
		実績値	3	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
施設整備進捗度 ( 広域ごみ処理施設の整備工事における進捗度 )	%	目標値	30	100
		実績値	26.7	92
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>ごみ焼却施設は、令和2年度中に竣工し、予定どおり令和3年4月から稼働したが、広域最終処分場にあつては工事に遅れが生じたことから、令和3年度の稼働を予定している。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいかが市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は大きくある 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を縮小
見直しする内容	広域ごみ処理施設及び広域最終処分場の整備が終了し、事業は中継施設整備に係るものとなる。
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模を縮小する
	広域ごみ処理施設及び広域最終処分場の整備終了後、残るは中継施設整備に係る経費となり、予算規模は縮小する見込みである。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>旧施設解体の方向性も含め、中継施設整備に今年度中に着手する。</p>
---------------------------------------



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	地域環境保全活動団体支援経費	事業ID
		10401050140

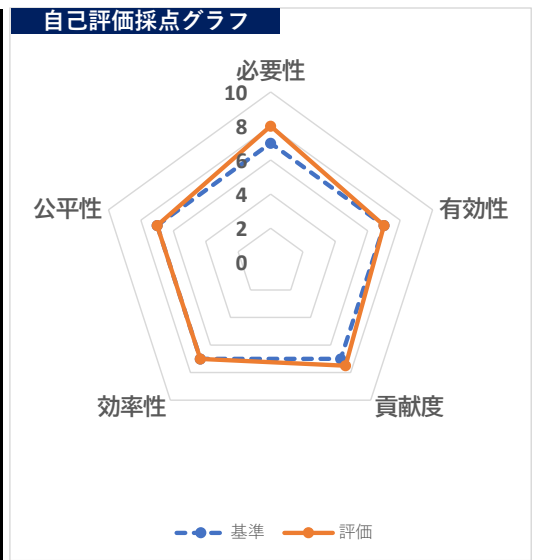
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
監視活動（パトロール等）	回	目標値	24	24
		実績値	24	24
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
地縁団体の不法投棄防止活動を促進することにより、不法投棄の防止及び抑制効果が見受けられる。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はあるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	事業として最小限のことを行っているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

地縁団体活動地域の不法投棄を防止し抑制するため、引き続き事業を継続する。
--------------------------------------







# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	環境監視員設置経費	事業ID
		10401050240

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
環境パトロール	回	目標値	147	140
		実績値	135	137
千葉県との合同パトロール	回	目標値	—	—
		実績値	1	0
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		

事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

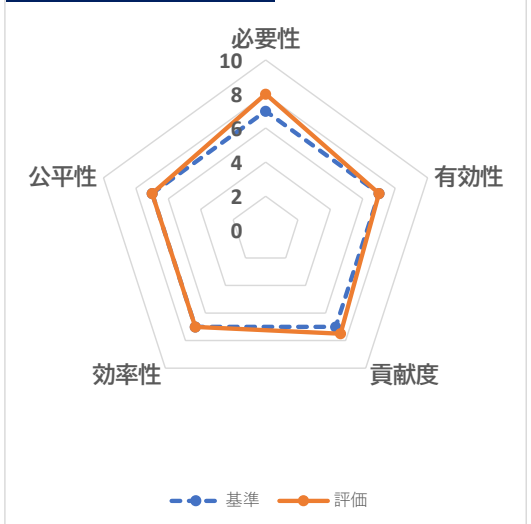
再任用職員が定期的に行う環境パトロールにより、苦情対象行為の早期発見が可能になるとともに、不法投棄に対する抑制効果が見受けられる。

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はあるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	最小限の事業を実施しているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	

自己評価採点グラフ



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

不法投棄及び野焼きの抑制や早期発見、騒音、振動、悪臭等苦情対象行為の早期対応に資するため、引き続き事業を継続する。



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	合併処理浄化槽転換助成経費	事業ID
		10401050340

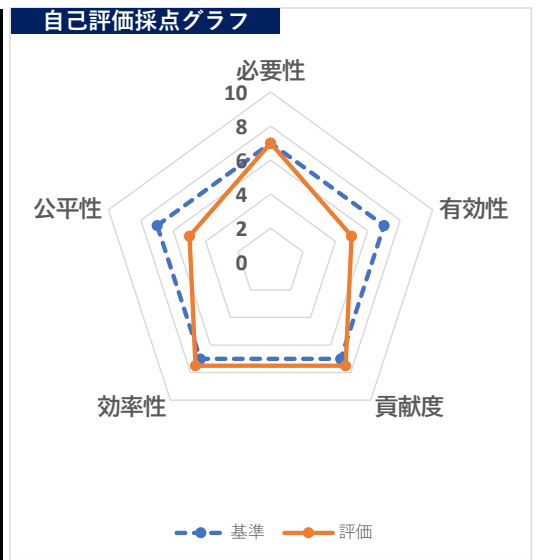
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
補助件数	件	目標値	10	6
		実績値	3	5
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
下水道区域外合併処理浄化槽設置率 ( 下水道整備区域外における合併処理浄化槽設置率 )	%	目標値	100	100
		実績値	21	23
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
対象となる区域に浄化槽を設置する方へ補助金を交付することにより、生活排水による公共用水の水質汚濁を防止している。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者負担を導入しているが適正なコスト計算を行っていない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、予算の現状維持は必要である。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
	旭市：旭市合併処理浄化槽設置事業補助金



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

生活排水による公共用水域の水質汚濁防止のため、引き続き事業を継続する。
-------------------------------------



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	その他環境保全対策経費	事業ID
		10401050440

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
悪臭調査地点	箇所	目標値	3	3
		実績値	3	3
中小河川水質調査地点	箇所	目標値	8	8
		実績値	8	8
自動車騒音調査路線	路線	目標値	3	4
		実績値	3	4
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		

事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

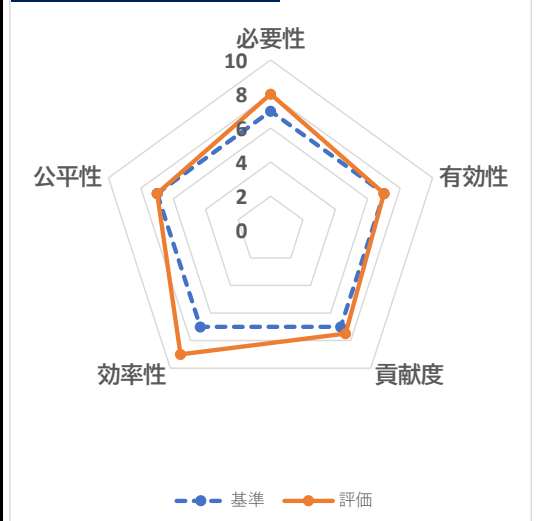
【臭気調査】3地点で指導目標値に不適合であった。【中小河川調査】2河川8箇所において大腸菌を除き環境基準に適合。【自動車騒音調査】4路線において環境基準値に適合。

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	市が実施すべき事業か	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	事業の成果は得られているか	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	上位施策の実現に向けた貢献度	事業費及び人員の削減に取り組んだ
	事業費等の削減努力	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	関連・類似事業との統合	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
公平性	受益者負担は公正・公平か	

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	最小限の事業を実施しているため。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	

自己評価採点グラフ



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

大気、水質等の環境保全のため引き続き事業を継続する。特に、自動車騒音の騒音測定結果については毎年環境省へ報告するため、事業の継続は必要である。



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	その他保健衛生関係経費	事業ID
		10401011940

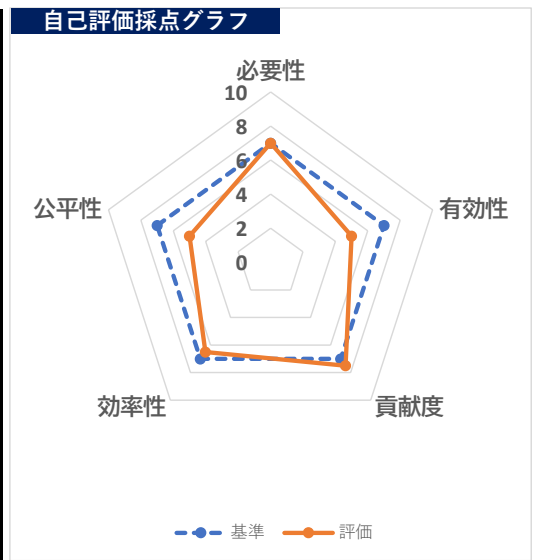
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
補助件数	件	目標値	1	1
		実績値	1	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
公衆浴場の営業の健全化と衛生水準の向上を図っている。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者負担を導入しているが適正なコスト計算を行っていない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	公衆浴場の営業の健全化と衛生水準の向上を図るため、予算の現状維持は必要である。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	
	香取市：香取市公衆浴場衛生対策事業



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

公衆浴場における公衆衛生の維持向上のため、引き続き事業を継続する。
-----------------------------------





行政経営評価レポート

		所管	生活環境課
事務事業名	犬の登録・予防注射経費	事業ID	10401020140

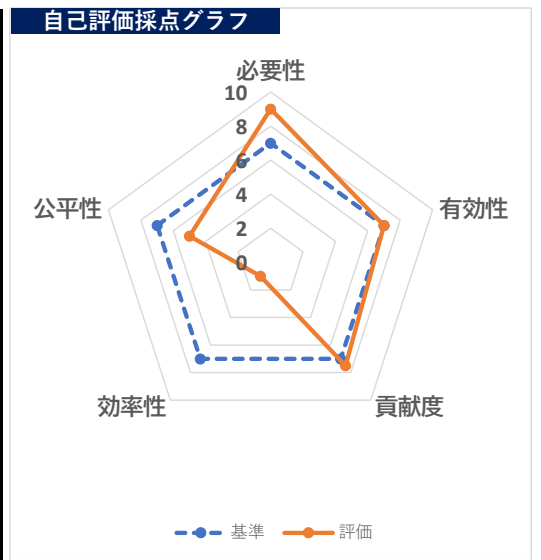
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
狂犬病予防注射ハガキ等送付数	枚	目標値	3,530	3,600
		実績値	3,200	2,326
狂犬病予防注射督促状送付数	通	目標値	—	—
		実績値	738	805
畜犬登録促進指導業務数	頭	目標値	—	—
		実績値	158	180
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
狂犬病予防注射接種率((b)÷(a)) ( 犬の登録数に対する接種済頭数の割合 )	%	目標値	100	100
		実績値	62	63
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか 市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】 実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者負担を導入しているが適正なコスト計算を行っていない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	法定受託事務のため
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

<p>法定受託事務でもあり、狂犬病予防のため引き続き事業を継続する。</p>
--



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	犬、猫等死体収集経費	事業ID
		10401030240

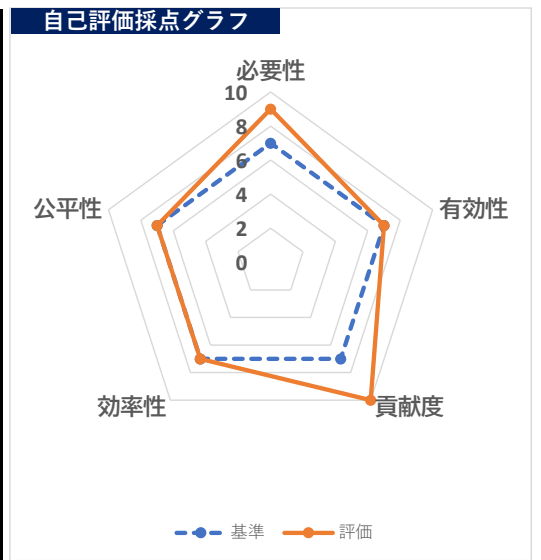
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
飼育者不明の犬、猫等の収集件数	件	目標値	—	—
		実績値	774	715
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
犬、猫等の死体を収集、処分することで市民の公衆衛生の保持及び生活環境の保全が図られた。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
収集件数が増えるなか、市民の衛生環境・生活環境を保つためにも予算の現状維持は必要である。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

市民の衛生環境・生活環境の維持のため引き続き事業の継続は必要である。
------------------------------------



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	斎場管理経費	事業ID
		10401040140

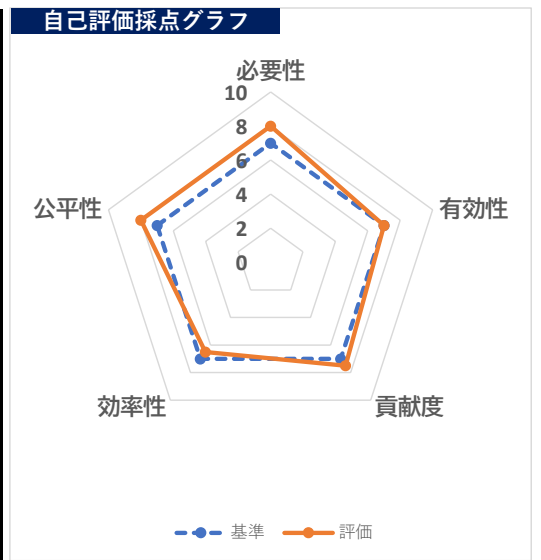
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
火葬数（大人、小人、死産、四肢の合計）	件	目標値	—	—
		実績値	1,014	968
火葬数（動物）	件	目標値	—	—
		実績値	500	560
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
指定管理者制度を用い斎場の健全な運営を目指すことにより、公衆衛生の向上が図られている。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	適正な受益者負担を導入している（直近2年以内にコスト計算実施）

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
<b>（上記理由）</b>	
事業は最小限のものを実施しているため。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

引き続き、指定管理者制度を活用しての斎場運営により、公衆衛生及び環境衛生の向上を図る。
---



# 行政経営評価レポート

		所管	生活環境課
事務事業名	公衆便所管理経費	事業ID	10402010640

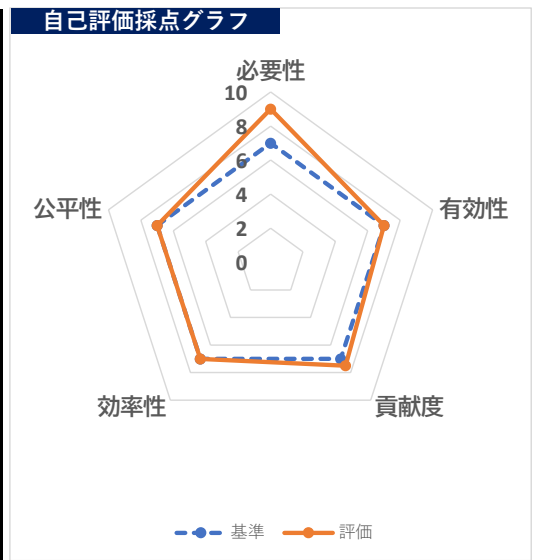
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
公衆便所清掃延回数	回	目標値	8,207	8,191
		実績値	8,207	8,191
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
市民や利用者の衛生的な利用環境の確保と公衆衛生の維持を図った。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
公衆便所箇所数に変わりがないことから予算規模も現状維持する必要がある。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

市民や利用者の衛生環境・公衆衛生を維持するため引き続き事業の継続は必要である。
---





行政経営評価レポート

事務事業名	衛生センター管理経費	所管	生活環境課
		事業ID	10402040640

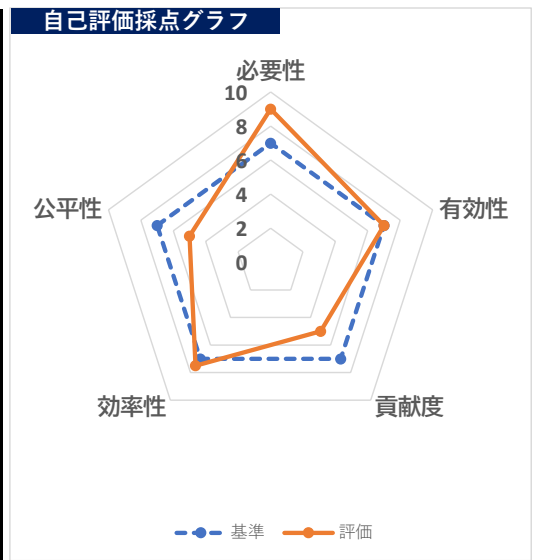
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
生し尿搬入量	kl	目標値	3,600	4,340
		実績値	3,561.49	3,452
浄化槽汚泥搬入量	kl	目標値	11,280	11,637
		実績値	11,181.41	11,233
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>銚子市衛生センターの円滑な運営と適切な維持管理により、生し尿及び浄化槽汚泥の処理を安定的に行い、市民の健康的な生活と清潔な環境を保持する。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性は適切であるが、あまり貢献ができていない
効率性	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	今後その額や対象等を再検討する必要がある

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を縮小
見直しする内容	人員配置の減
今後の予算規模の方向性	予算規模を縮小する
(上記理由)	
	基幹的設備改良に伴う維持管理経費の低減
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

<p>基幹的設備改良工事が完了したため、今後は規模にあった生し尿及び浄化槽汚泥の処理を安定的に実施するとともに、施設の維持管理に努める。</p>
--



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	衛生センター基幹的設備改良経費	事業ID
		10402040740

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
工事定例会開催回数	回	目標値	12	12
		実績値	12	12
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
工事累計進捗率 ( 工事全体工程全体における各年度末時点の達成度合い )	%	目標値	50	100
		実績値	45.4	100
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		

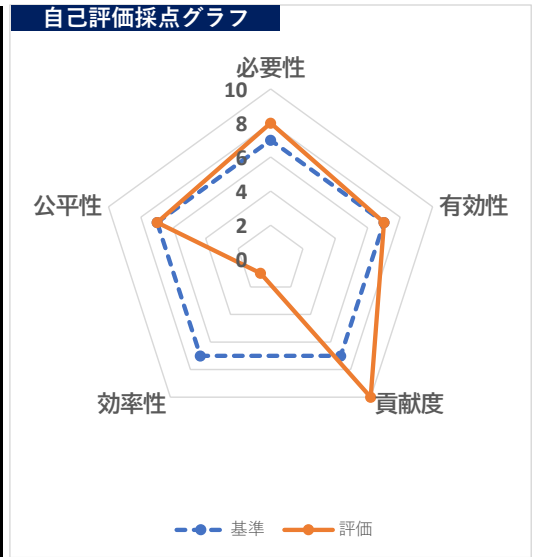
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

銚子市衛生センターは建設から約25年が経過し、施設全体が老朽化しているため、循環型社会形成推進交付金を活用し、老朽化した設備の修繕、更新等を実施した。これらの更新により施設の20年程度の長寿命化、処理能力の向上及びCO2排出量の削減が図れている。

## 5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか 市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は大きくある 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効 率 性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	受益者はあるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	b:事業を休止又は廃止とする
見直しの種類	その他
見直しする内容	事業終了をもって廃止
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模を縮小する
	事業終了をもって廃止
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

基幹的設備改良工事が完了したため、今後は規模にあった生し尿及び浄化槽汚泥の処理を安定的に実施するとともに、施設の維持管理に努める。



# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	市民環境活動推進経費	事業ID
		10401050740

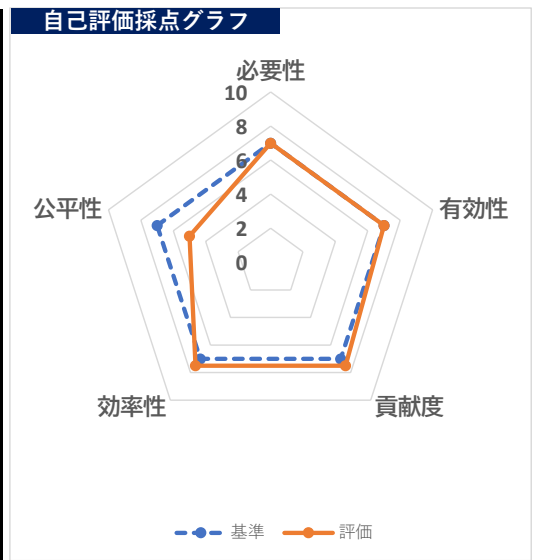
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R1	R2
補助件数	件	目標値	—	—
		実績値	1	1
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R1	R2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
環境保全活動の喚起及び市民の環境意識の高揚につなげている。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者負担を導入しているが適正なコスト計算を行っていない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	環境保全活動の喚起及び市民の環境意識の高揚のため、予算の現状維持は必要である。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	旭市：環境ボランティア団体への報奨金



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

市民の環境保全活動に留意しつつ、引き続き事業を継続する。
------------------------------



行政経営評価レポート

		所管	生活環境課
事務事業名	住宅用太陽光発電システム設置費補助経費	事業ID	10401050940

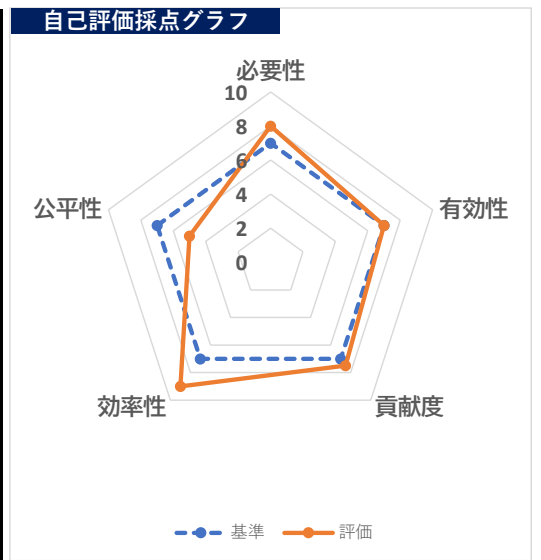
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
補助件数	件	目標値	15	10
		実績値	7	6
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
温室効果ガス削減量 (住宅用太陽光発電システム設置による温室効果ガスの削減量)	t-CO2	目標値	32	21.3
		実績値	21.3	15.4
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
地球温暖化の防止並びに家庭におけるエネルギーの安定確保及び利用の効率化を図っている。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	事業費及び人件費の削減を図るため、関連・類似事業と統合した
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者負担を導入しているが適正なコスト計算を行っていない

事業の方向性	d:他事業と統合し、本事業は廃止する
見直しの種類	その他
見直しする内容	太陽光発電システムは、住宅用省エネルギー設備のひとつと位置付け、住宅用省エネルギー設備等導入促進経費と統合する。
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする  家庭における地球温暖化防止対策促進のため、予算の現状維持は必要である。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

令和3年度から当該事業は住宅用省エネルギー設備等導入促進補助経費へ統合した。
--





# 行政経営評価レポート

	所管	生活環境課
事務事業名	住宅用省エネルギー設備等導入促進補助経費	事業ID
		10401051340

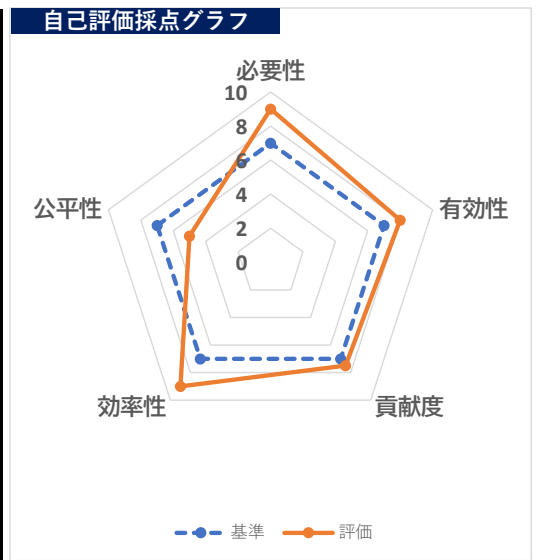
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
補助件数	件	目標値	—	10
		実績値	—	15
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
温室効果ガス削減量 (住宅用省エネルギー設備等設置補助による温室効果ガスの削減量)	t-CO2	目標値	—	9
		実績値	—	13.2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
地球温暖化防止並びに家庭におけるエネルギーの安定確保及び利用の効率化に寄与している。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	事業費及び人件費の削減を図るため、関連・類似事業と統合した
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者負担を導入しているが適正なコスト計算を行っていない

事業の方向性	a:事業内容を見直す
見直しの種類	事業を拡大
見直しする内容	太陽光発電システムその他対象設備の種類を増やす。
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模を拡大する
県の補助メニューの拡充や今後のゼロカーボンシティの取組内容をふまえて、家庭における地球温暖化防止対策を促進するため。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	
旭市：旭市住宅用省エネルギー設備設置補助金	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

住宅用太陽光発電システム設置費補助経費を統合し、引き続き事業を進める。なお、県の補助メニューやゼロカーボンシティの取組内容、他制度の補助メニューの重複等に留意する。
--



行政経営評価レポート

		所管	都市整備室
事務事業名	街路管理経費	事業ID	10805020137

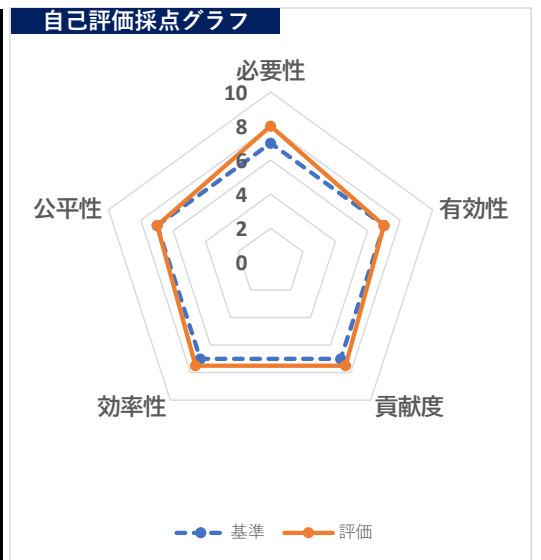
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
市内街路樹剪定業務	回	目標値	1	1
		実績値	1	1
豊里台街路樹剪定業務	回	目標値	1	1
		実績値	1	1
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
街路の安全管理と景観保全を行うことで潤いのある自然環境が保たれている。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	現状の事業内容を実施することで、自然環境が保たれているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>今後も街路の安全管理と景観保全を行い、潤いのある自然環境の構築に努める。</p>
---



# 行政経営評価レポート

	所管	都市整備室
事務事業名	君ヶ浜しおさい公園管理経費	事業ID
		10805030637

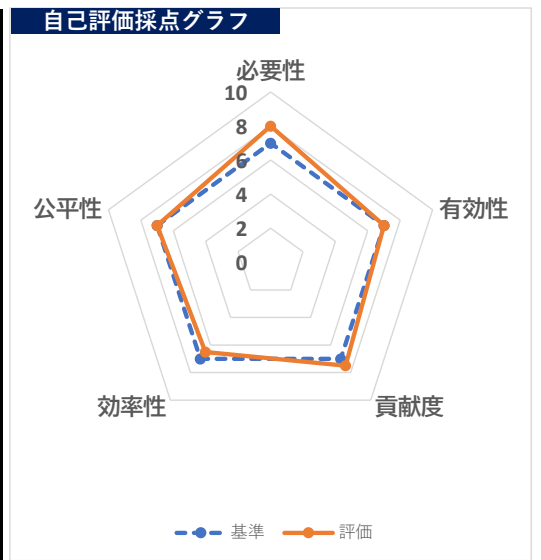
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
君ヶ浜しおさい公園松薬剤散布	回	目標値	2	2
		実績値	2	2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
薬剤散布することで、公園内の松枯れを最小限に抑えている。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
有効性	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	現状の散布により概ね枯松対策はされているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

公園内の松枯れを最小限に抑えるために薬剤散布を行い、公園の安全管理と景観保全を図ることに努める。
--



行政経営評価レポート

		所管	都市整備室
事務事業名	その他公園関係経費	事業ID	10805030837

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
桜井町公園除草業務	回	目標値	4	4
		実績値	4	4
中央みどり公園及び駅前広場管理業務	回	目標値	4	4
		実績値	4	4
豊里台緑が丘公園除草業務	回	目標値	3	3
		実績値	3	3
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		

事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

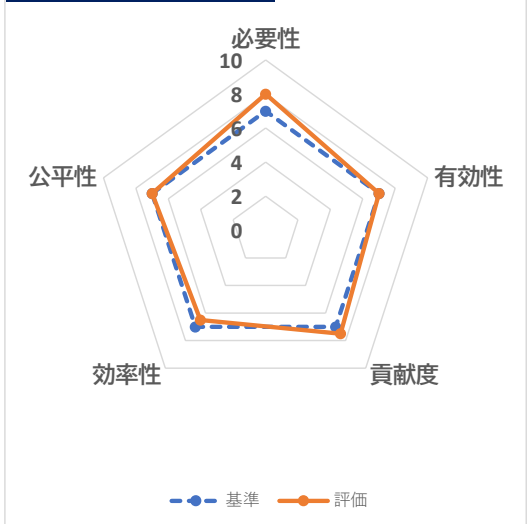
年4回以上除草を行うことで公園の維持管理、環境保全が保たれている。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか 市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は大きくある 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はあるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	年4回以上除草を行うことで公園の維持管理、環境保全が保たれているため。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	

自己評価採点グラフ



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

今後も除草等を行うことで公園施設等の維持管理及び環境保全に努める。





# 行政経営評価レポート

	所管	土木室
事務事業名	道路橋りょう維持管理経費	事業ID
		10802020139

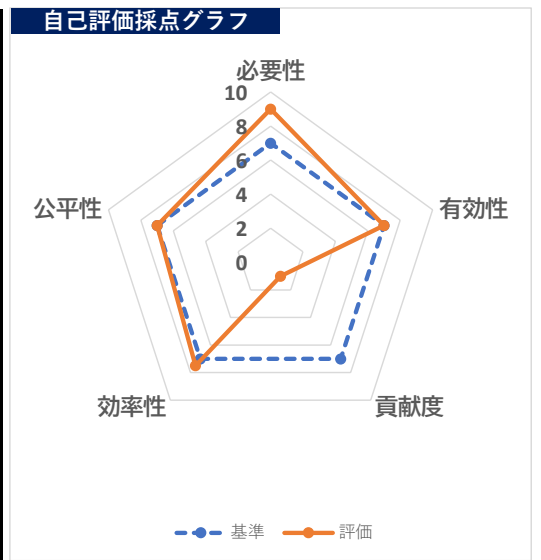
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
道路補修要望に伴う補修等作業実施件数	件	目標値	—	—
		実績値	1,251	1,221
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
市民等からの補修要望等に基づき、市道や法定外公共物（赤道や水路）を適切に維持管理するための補修や整備を実施した。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も見直す必要があり貢献できていない
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模を拡大する
(上記理由)	
道路整備予算が限られ、維持補修に関する要望への対応が困難となっている中、事業の拡大が必要。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

計画的な道路工事を行うことで、老朽化による道路舗装や側溝の破損に係る補修作業の減少が見込まれるが、緊急財政対策による事業見直しにより、道路整備予算を縮小しているため、現在、道路維持管理の費用が増加している。要望を受けてから補修整備が完了するまでの業務の見直しを行い、作業効率の向上を目指す。
---



# 行政経営評価レポート

	所管	土木室
事務事業名	市道改良整備経費	事業ID
		10802030139

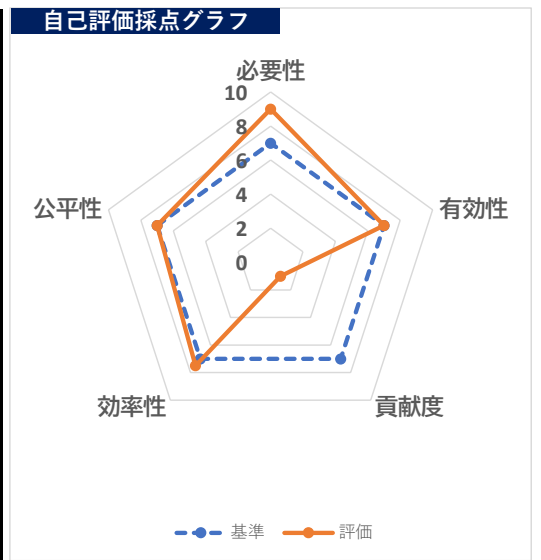
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
道路改良済延長	m	目標値	—	—
		実績値	410,038	410,281
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
道路改良率	%	目標値	—	—
（改良済の道路延長が、道路の実延長に占める割合）		実績値	50.99	51.02
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
市民等からの要望により、側溝補修や舗装修繕等を実施し、道路を安全に利用するための整備を行った。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も見直す必要があり貢献できていない
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模を拡大する
(上記理由)	
道路施設の老朽化に伴い市民からの整備要望が多数寄せられるが、大部分が未対応の状況である。これらは、市直営による維持補修では対応が困難な現場が多く、予算規模の拡大が必要。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

市道の舗装や排水整備を市民からの要望に基づき、計画的に行う。また、市民等から補修要望を受け、市直営での対応が困難な場合には、緊急対応工事を実施していく。近年、補修要望件数の増加に伴い緊急対応工事の費用も増加している。そのため予算不足が生じ、道路改良分の経費から補填しているため、計画的な市道改良の実施ができていない。また、道路改良の着手が遅れることで、更なる補修要望の増加も懸念される。近隣及び銚子市の類似団体の道路整備事業費と比較すると、本市の道路整備事業にける金額は著しく低い状態である。市民の安心・安全を確保するために必要な予算の確保や土木技師の人員確保を図る。
--



行政経営評価レポート

		所管	土木室
事務事業名	交通安全施設整備経費	事業ID	10802030239

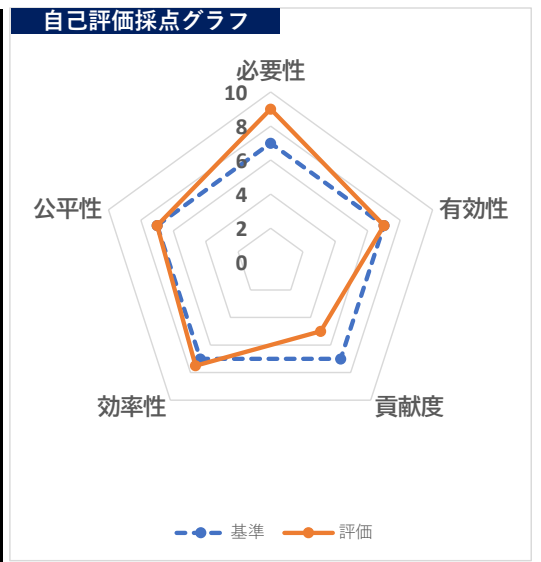
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
交通安全施設整備工事	件	目標値	—	—
		実績値	10	10
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
人口1万人当たり交通事故発生件数 ( 市内における人口1万人当たりの交通事故の発生件数 )	件	目標値	—	—
		実績値	25.6	21.6
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
道路反射鏡やガードレールの設置等、交通安全施設の整備を行った。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか 市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】 実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性は適切であるが、あまり貢献ができていない
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模を拡大する
	交通安全施設整備に関する要望が多く寄せられているが、予算の都合上、未整備の危険箇所も多くあることから、予算規模の拡大が必要。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

交通安全対策特別交付金を活用し、老朽化等により破損した道路反射鏡やガードレールの付替えを実施している。交付金の交付額減少に伴い、事業費が大幅に削減され市民の要望に対応できていない状況である（令和3年度予算は過去3年間分の交付額の平均額）。通学路におけるガードレール等の交通安全施設の未整備区間が全国的に問題視され、教育委員会、警察及び道路管理者による通学路の合同点検が行われている。交通事故の減少には施設整備の推進が必須であるため、必要な予算の確保を行い、合同点検の結果や市民からの要望を踏まえた、安全・安心な道路環境の整備を行っていく。



# 行政経営評価レポート

	所管	土木室
事務事業名	橋りょう長寿命化対策経費	事業ID
		10802031239

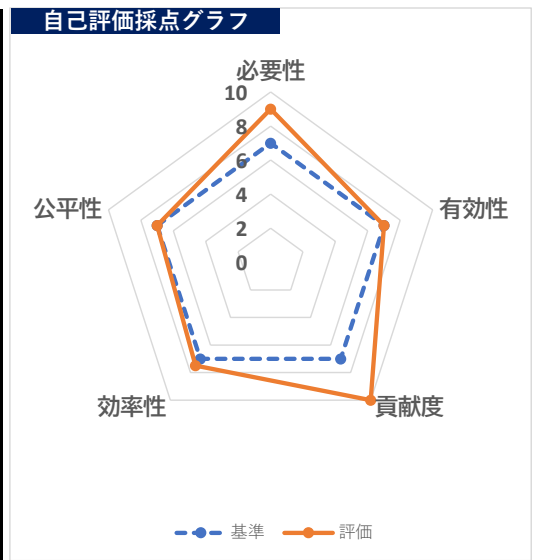
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
定期点検実施橋りょう数	箇所	目標値	—	—
		実績値	35	23
橋りょう補修工事	件	目標値	—	—
		実績値	6	17
事業成果指標項目 (指標の説明)				
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの定期点検や修繕工事を実施した。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
概ね5年に1回実施する橋りょう定期点検の結果を踏まえた橋りょう長寿命化計画に基づき、適切な時期に適切な補修を実施することで、財政負担の軽減化と長期的なコストの平準化が図られるため、適切な予算措置が必要。	
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



## 6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

橋りょう点検を実施し、その結果を踏まえて策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、損傷が進行した橋りょうから順次、長寿命化のための修繕を実施する。JR銚子駅跨線人道橋及びJR総武本線の跨線人道橋は、平成29年に実施した定期点検の結果、健全度Ⅲ(早期措置段階)と診断され、損傷が大きく5年以内に対策を要するものとされている。対策に係る費用が多額のため、方向性が定められなかったが、今後、JRと協議を行い補修に向け予算の確保を行う。







# 行政経営評価レポート

		所管	土木室
事務事業名	市道舗装修繕経費	事業ID	10802031539

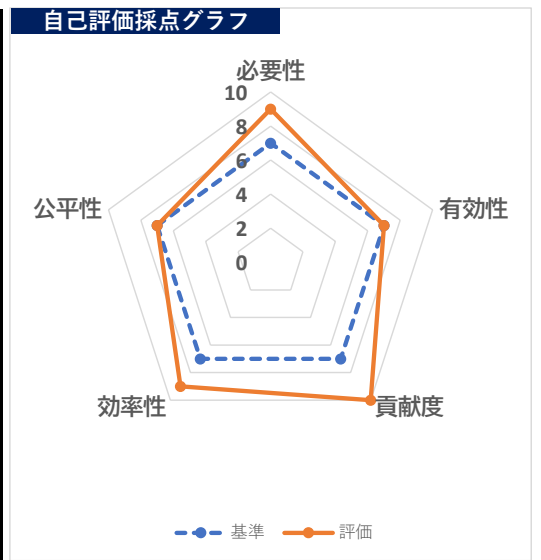
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
道路舗装修繕工事	件	目標値	—	—
		実績値	3	4
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
道路舗装維持修繕計画に基づき、市内の幹線道路・生活道路である市道（1006号線・1007号線・1010号線・2003号線）の補修を実施し、道路を安全に利用するための整備を行った。				

## 5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有 効 性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効 率 性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	事業費及び人件費の削減を図るため、関連・類似事業と統合した
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
主に幹線道路や交通量の多い生活路線の道路舗装を適切な時期に適切な補修を実施することにより、財政負担の軽減化と長期的なコストの平準化が図られるため、適切な予算措置が必要。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

道路の舗装状況を把握するため路面性状調査を行い、その結果を踏まえて策定した道路舗装維持修繕計画に基づき、損傷が著しい道路（主に大型車両の通行が多い区間）について、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、計画的な舗装修繕を行う。近隣及び銚子市の類似団体の道路整備事業費と比較すると、本市の道路整備事業にかかる金額は著しく低い状態である。市民が安心して利用できるよう計画的な舗装修繕を実施する。同時に道路損傷の進行が早まった場合に対応できるよう予算の確保や土木技師の人員確保を図る。
--



# 行政経営評価レポート

	所管	土木室
事務事業名	道路付属物修繕経費	事業ID
		10802031839

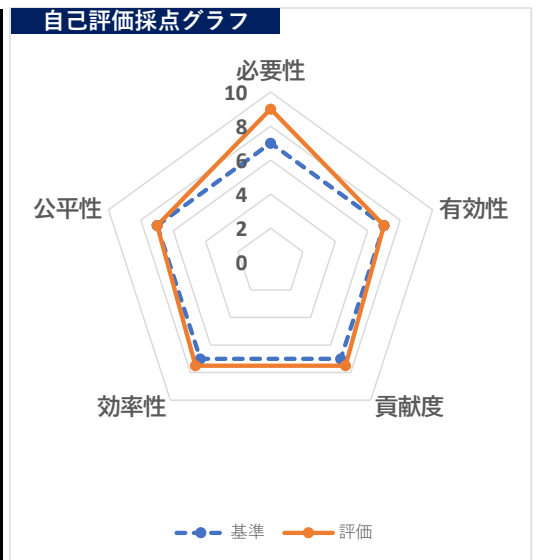
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
道路付属物整備件数	件	目標値	—	—
		実績値	3	3
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
道路付属物維持修繕計画に基づき、道路照明灯（2基）や大型標識（1基）を更新し、道路を安全に利用するための整備を行った。				

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	道路付属物修繕計画に基づく計画的な修繕工事の実施が必要なため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

道路照明施設及び大型道路標識の点検を行い策定した道路付属物維持修繕計画に基づき、老朽化の著しい道路付属物の修繕と撤去を計画的に行う。道路付属物維持修繕計画では、定期点検で健全と診断された道路付属物は修繕等を行わないこととしている。しかし、健全と診断されたものの中には、施設としての寿命を過ぎたものが多く存在し、今後、老朽化の加速などにより緊急的に修繕等を行う事態が想定される。また、付属物の寿命にあわせた修繕や撤去を予定した場合、年度によって事業費に差が生じるため、事業費の均等化を図り、突発的な財政負担を発生させないよう計画していく。均等化に伴う事業費の増額が予想されるため、必要となる予算の確保を行う。



行政経営評価レポート

		所管	土木室
事務事業名	河川整備経費	事業ID	10803010139

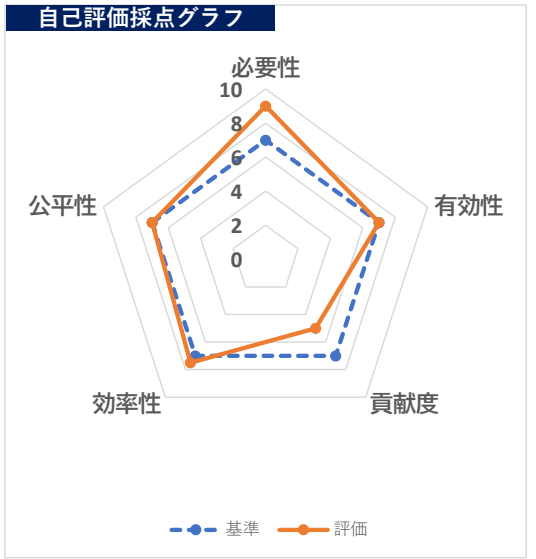
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
護岸改修工事	件	目標値	—	—
		実績値	1	3
河川浚渫工事	件	目標値	—	—
		実績値	2	4
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
( )		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>災害時における河川の氾濫に備え、滑川、八幡川及び佐原川の老朽化した護岸の改修工事や森戸川、滑川、八幡川及び清水川支流の土砂を取り除く浚渫工事を実施した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなされない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性は適切であるが、あまり貢献ができていない
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	<p>近年の台風の大型化・豪雨の頻発、利根川の最下流に位置する地理的な要因から河川護岸整備及び浚渫に対する需要が高まっている。また、利根川沿いの築堤工事とともに国が整備した樋管が市へ移管されることに伴い、維持管理に係る費用が発生するため、予算規模の拡大が必要。</p>
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>老朽化した護岸の補修や改良を計画的に行うとともに、令和2年度から制度化された緊急浚渫推進事業債を活用し、氾濫防止のための浚渫工事を実施していく。現在、国において利根川の築堤整備と一体的に樋管整備が進められており、樋管整備完了後は市に移管される（将来的に市が管理する樋管は18箇所となる見込み）維持管理を行うこととなっている。また、国により整備される樋管には利根川増水時にゲートを安全に操作するための遠隔操作システムや水位カメラなどの機械設備が設置されることとなるため、樋管施設の保守点検や水路の浚渫、機械設備のメンテナンスを適切に実施していく。樋管の維持管理には財政支援の仕組みがないため、国に対し財政措置の確立を要望していく。</p>
---





行政経営評価レポート

事務事業名	地方バス路線運行維持費補助経費	所管	企画室
		事業ID	10201140802

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
赤字路線への補助	路線	目標値	—	—
		実績値	6	6
赤字路線への補助額 ※詳細は事業成果の総評欄に記載	円	目標値	—	—
		実績値	26,627,083	32,673,492
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 1	R 2
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
人口減少や新型コロナウイルス感染症の流行等による利用者数の減少により、運行事業者の収益が悪化している。このため、運行継続が困難になりつつあるが、補助を行うことにより、路線バスの運行維持が図られている。【各路線への補助額】長崎線：7,699,350円、豊里ニュータウン線：7,116,763円、千葉科学大学線：3,905,733円、旭～銚子線：4,310,573円、海鹿島線：3,877,590円、川口線：5,763,483円				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか 市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は大きくある 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	路線バスの運行維持のため、引き続き補助を継続する必要があるため。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	旭市コミュニティバス 48,149千円 (令和元年度負担額)、匝瑳市コミュニティバス 70,607千円 (令和元年度負担額)



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

既存のバス路線の維持はできているものの、赤字欠損額は増加しており、課題がある。今後は地域公共交通計画の策定の検討など、地域交通のあり方について考えていく必要がある。
--





行政経営評価レポート

		所管	企画室
事務事業名	銚子電気鉄道運行維持費補助経費	事業ID	10201141202

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
軌道設備等整備費補助	円	目標値	—	—
		実績値	7,841,735	5,997,229
車両保存費（車検費用）補助	円	目標値	—	—
		実績値	—	14,989,999
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
銚子電鉄1日平均乗車人員 ( )	人	目標値	1,000	1,000
		実績値	1,126	1,049
( )		目標値		
( )		実績値		
( )		目標値		
( )		実績値		

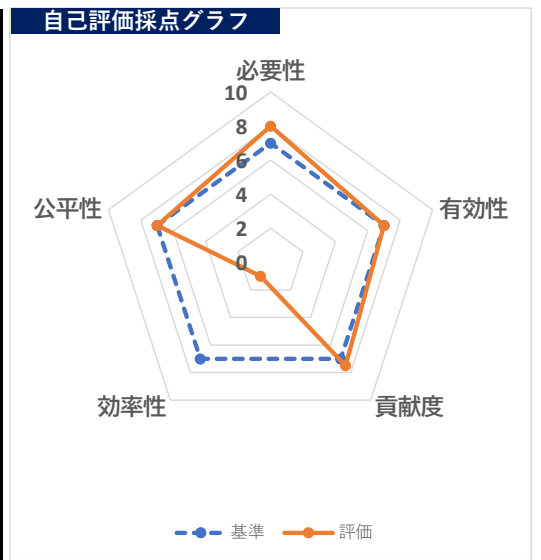
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

安全設備の整備費用に対する銚子電鉄の負担割合が1/3となるよう、国・県と強調して補助を行うことで、安全確保と運行維持が図られている。【整備内容：マクラギ更新、土留め新設、踏切更新（3か所）、電柱更新、車検（2編成）】

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか 市が実施すべき事業か	廃止・休止による影響は大きくある 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はあるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	現在の補助は、令和5年度まで国県市3者で協調して行う枠組で計画が決まっているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

銚子電鉄は、地域の公共交通であるとともに観光のシンボルでもあり、本市のシティセールスにも大きく貢献していることから、安全運行を確保・維持するためにも、補助を継続する。



# 行政経営評価レポート

	所管	消防総務課
事務事業名	水道事業会計負担経費	事業ID
		10901030242

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
消火栓新規・敷設替え数	基	目標値	—	—
		実績値	3	1
消火栓修繕件数	件	目標値	—	—
		実績値	10	15
公設消火栓数	基	目標値	—	—
		実績値	1,226	1,227
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		

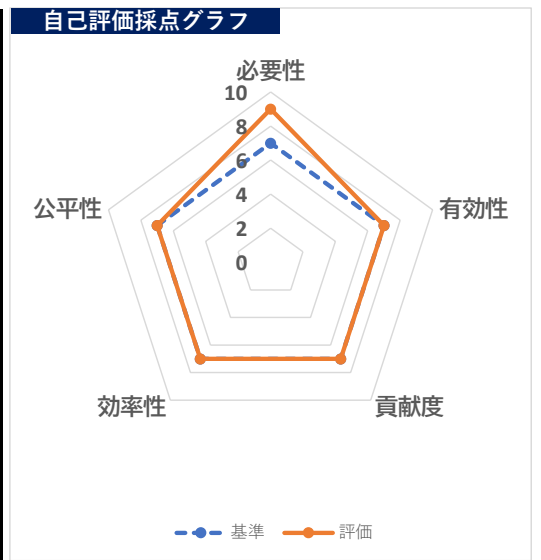
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

消火活動に必要な消火栓の設置・維持管理経費であり、この事業を継続することにより万全な消火活動に繋がる。消火栓の維持管理に要する経費で、消火栓の新規設置については水道管敷設が条件であり、計画の作成は困難であるため指標の設定はしないものとする。

## 5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	過去に設置した消火栓の数が多いことから、維持管理に要する経費は増大することが想定されるが、予算規模は現状維持とし、必要となった際は都度対応とする。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

消防水利充実のため、今後も消火栓の新規設置を回りながら維持管理の徹底に努める。



# 行政経営評価レポート

	所管	企画室
事務事業名	水道事業会計補助及び出資経費	事業ID
		10401010602

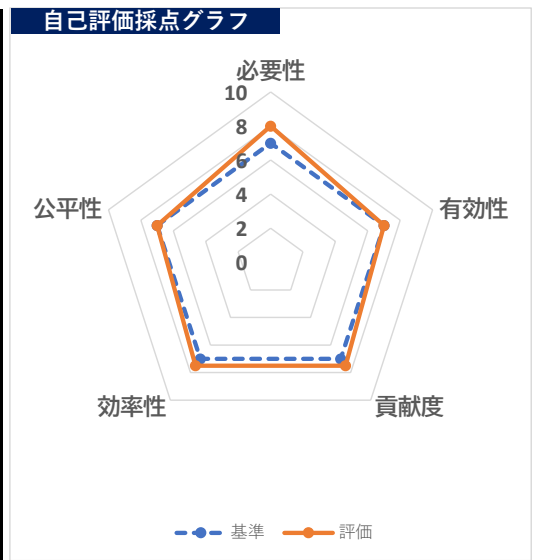
## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
水道事業会計に対し、一般会計からの繰出しをすることで、水道料金の上昇を抑制している。				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
<b>有効性</b>	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
地方公営企業の経費のうち、国が定める繰出基準により一般会計が負担するものについては、引き続き一般会計から助成する必要がある。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

簡易水道事業の建設改良に係る企業債の償還が終了するまで、普通交付税基準財政需要額算入相当額の繰出しを継続する。
---



# 行政経営評価レポート

	所管	都市整備室
事務事業名	下水道事業会計負担、補助及び出資経費	事業ID
		10805011437

## 4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 1	R 2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 1	R 2
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
<b>事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載</b>				
<p>公共下水道事業繰出基準に基づき、一般会計で負担すべき繰出しについては適正に支出している。</p>				

## 5 事業の検証

<b>必要性</b>	事業の実施に対するニーズはあるか	評価対象外
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	評価対象外
	市が実施すべき事業か	評価対象外
<b>有効性</b>	事業の成果は得られているか	評価対象外
<b>貢献度</b>	上位施策の実現に向けた貢献度	評価対象外
<b>効率性</b>	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
<b>公平性</b>	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

<b>事業の方向性</b>	c:事業内容は現状どおりとする
<b>見直しの種類</b>	現状どおり
<b>見直しする内容</b>	
<b>今後の予算規模の方向性</b>	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
公共下水道事業繰出基準に基づく繰出金のため。	
<b>比較参考（他自治体での類似事業の例など）</b>	



## 6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>各年度の繰出基準に基づき、適正に繰出金を支出する。</p>
----------------------------------